

# 胃・大腸X線(バリウム)透視検査

検査予定日時 年 月 日 午前 時 分より

患者氏名 殿

## 検査を受けらる方へのご注意

- 検査予約日、時間を厳守して下さい。
- 検査前日午後 10 時以降は絶食して下さい。
- 検査当日は絶飲食(水も飲まない様に)して下さい。
- 薬物過敏症があれば必ず前もって申し出て下さい。

## 硫酸バリウム製剤によるX線検査(胃・大腸)後の注意事項

硫酸バリウム製剤を使用した胃や大腸のX線検査により、まれにショックなどの重篤な過敏症(アレルギー症状)や「消化管穿孔(腸閉塞、腹膜炎)」などの副作用が起こることがあります。

このような重篤な副作用を予防するために、また、早期に発見するために、次の点についてご注意下さい。

### ◆過敏症(ショック)を予防するために

検査後、次のような症状がでたときには、すぐに最寄りの医療機関を受診し、適切な治療を受けて下さい。

<注意していただく症状>

じんましん、気分が悪い、顔色が青白くなる、手足が冷たくなる、喉が詰まる、息苦しい など

### ◆消化管穿孔(腸閉塞、腹膜炎)を予防するために

検査後、硫酸バリウムが長時間腸内に残っているとだんだん硬くなり、排泄しにくくなります。そのため、消化管穿孔(消化管に穴が開く)、腸閉塞(消化管に硫酸バリウムが詰まる)、バリウム腹膜炎などの重篤な症状を引き起こすことがあります。できるだけ早くバリウムを排泄させるために、次の点に注意して下さい。

1. 受け取った下剤は必ず指示どおりに、できるだけ多くの水で服用して下さい。
2. 帰宅後もできるだけ多くの水分を摂って下さい。
3. 便意を感じなくても、定期的にトイレに行くよう心がけて下さい。
4. 検査後の数日間、排便の状況を確認していただき、バリウム便が排泄されない場合や持続する便秘、嘔吐、嘔気、腹痛、腹部膨満感などの症状があらわれた場合には、すぐに最寄りの医療機関を受診して下さい。